

Information

連携企画

常設展 御座船「飛龍丸」

常設展示室1 4月22日(火)～6月1日(日)

大名の乗る軍船であり、参勤交代にも使われた御座船。内側も外側も豪華に飾られ、大名の力を示していました。高松藩の御座船「飛龍丸」を表した絵図面を一挙に公開し、その姿をご紹介します。

常設展 アートコレクション ニッポンの城

常設展示室2 4月15日(火)～6月1日(日)

紙版画家 井上員男(1932～2022)の作品「日本の城シリーズ」から四国をはじめ、全国各地の城を選りすぐり、ご紹介します。

関連行事

イベントがもりだくさん!

1 講演会

地下1階講堂 ◎無料・要事前申込

高松築城ものがたり

高松城の築城について城主となった生駒家や松平家の役割などをふまえてお話しします。

日時 4月26日(土) 13:30～15:00
講師 胡 光氏(愛媛大学法文学部教授)

海城町・高松のものがたり

高松を「海城町」としてとらえ、都市としての成り立ちや景観の特徴についてお話しします。

日時 5月11日(日) 13:30～15:00
講師 西成 典久氏(香川大学経済学部教授)

定員 230名(先着順)
申込期間 3月26日(水)～
申込方法 電話または香川県電子申請・届出システム*1から。

2 ワークショップ

「高松城下で生まれた保多織で作品づくり」

地下1階研修室 ◎有料・要事前申込

高松城下で生まれた、織物「保多織」。独特の手ざわりを楽しみつつ、木綿の布を縫い合わせてオリジナルのコースターづくりに挑戦。

日時 4月29日(火・祝) 13:30～15:00
講師 平川 めぐみ氏(ファッションデザイナー)
参加料 1,000円
定員 25名 ※応募者多数の場合は抽選
対象 一般(小学3年生以下の場合は保護者の同伴が必要)
申込期間 3月25日(火)～4月15日(火)
申込方法 香川県電子申請・届出システム*1、往復はがき*2から。1回2名まで申し込み可。往復はがきの場合、氏名、電話番号、ワークショップの名称を明記してください。

国際博物館の日 記念事業

3 ゴールデン・ウィーク・スペシャル

2階西ロビー、1階エントランスホール等 ◎一部有料・当日受付

デコシャチほこづくり、折紙、ぬりえ、クイズなど、展覧会にちなんだ遊びがいっぱい!展覧会鑑賞の前や後に楽しくあそぼう!5月4日は「せとうちのおもてなし」石臼体験や地元産のお茶もお楽しみいただけます(数量限定)。

日時 5月3日(土・祝)～5月5日(月・祝)の3日間 10:00～12:00、13:00～16:00
参加料 「デコシャチほこづくり」は100円(保険料・材料費として)

4 プレミアムナイトツアー-高松城夜話

閉館後に行う人数限定のプレミアムツアー。カフェで特別メニューを楽しみながら特別会場へ。ここでしか聞けない学芸員の深い話を期待您的。

日時 ①5月9日(金) ②5月30日(金) 18:00～20:00(受付は17:30～)
定員 各回20名(先着順)
申込方法 旅行情報サイト「じゃらんnet」より 4月9日(水)～詳しくは当館WEBサイトをご覧ください。

5 高松城石垣ツアー

1階エントランスホール集合 ◎要観覧券・当日受付

ミュージアムが建つ高松城東の丸の石垣の見どころを、学芸員と一緒に探検してみませんか。

日時 5月17日(土) 13:30～14:00(受付13:00～)
定員 先着20名

詳しくは当館WEBサイトをご覧ください。

ナイトミュージアム

6 サタデーナイトトーク

2階特別展入口集合 ◎要観覧券・申込不要

落ち着いて観覧できる夜間開館。展覧会会場にて担当学芸員がじっくりと特別展の見どころを解説します。

日時 ①4月26日(土) ②5月3日(土・祝) ③5月10日(土) ④5月17日(土) ⑤5月24日(土) 各回 18:30～(30分程度)

7 ナイトコンサート「サスカイトの響き」

1階図書コーナー ◎無料・当日受付

香川ゆかりの石「サスカイト」が奏でる澄んだ音色とともに優雅な夕べのひとつときをお楽しみください。

日時 5月5日(月・祝) 18:30～19:20(開場18:00)
奏者 臼杵 美智代氏(サスカイト)・長田 順子氏(ピアノ)
定員 先着50名(多数の場合は立ち見可能)

8 イサム・ノグチ「AKARI」ライトアップ

1階図書コーナー ◎無料

岐阜提灯との出会いを機に生み出した、光の彫刻「AKARI」を夜間開館時間中、特別点灯します。ノグチの代表作「アーケイック」の周辺で灯る「AKARI」をご堪能ください。

点灯時間 夜間開館日の17:30～20:00

*1「香川県電子申請・届出システム」を利用する場合
香川県立ミュージアムWEBサイトの「関連リンク」の「香川県電子申請・届出システムのページ」をクリック!
*2 はがきの送付先: 香川県立ミュージアム学芸課 〒760-0030 高松市玉藻町5-5
問い合わせ先▶ TEL:087-822-0247

甲冑着付体験(屋外型)

◎有料・要事前申込

誰でも鎧武者!軽量の甲冑を着て、高松城跡(玉藻公園)で散策を楽しみませんか?

詳しい情報と申込は「じゃらんnet」から

ミュージアムショップ

1階ミュージアムショップでは、当館オリジナルグッズ等を販売しています。

カフェポットミュージゼ

くつろぎのひとつきに、カフェポット ミュゼをご利用ください。特別限定メニューもお楽しみいただけます。

玉藻公園と相互割引(団体料金)があります
瀬戸内国際芸術祭パスポート提示で団体料金(4/22～5/25)

The Kagawa Museum

香川県立ミュージアム

〒760-0030 香川県高松市玉藻町5-5 TEL:087-822-0002
https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/kmuseum



- 【交通】
 - JR高松駅から東へ900m
 - ことぞん高松港駅から東へ800m
 - ことぞん片原町駅から北へ500m
 - ことぞんバス「県民ホール前」から南へ200m
- 【駐車場】
 - 当館地下駐車場(50台、有料)
 - 香川県玉藻町駐車場(有料)



令和7年 4月22日(火)～6月1日(日) April 22 - June 1, 2025

【開館時間】午前9時～午後5時 *入館は閉館の30分前まで
【夜間開館】午後8時まで 4/26、5/3・5・10・17・24
【休館日】月曜日(5月5日(月・祝)は開館)、5月7日(水)
【観覧料】1,200円、前売・団体[20名以上] 1,000円
【前売】香川県立ミュージアム、セブンイレブン各店(4/21まで) (セブンチケット/セブンコード:109-831)
【Hours】9:00 a.m.～5:00 p.m.
April 26, May 3, 5, 10, 17, 24 9:00 a.m.～8:00 p.m.
【Closed】Mondays (except May 5) and May 7
【Admission】1,200 yen, Group Admission (for groups of 20 or more people) 1,000 yen per person.
*Free admission for students in high school or below, Kagawa residents over 65 years old, and those with proof of disability, designated intractable disease, or specific chronic pediatric disease (including caregivers).

《主催》香川県立ミュージアム
《共催》香川県教育委員会 四国新聞社
《特別協力》高松市 公益財団法人松平公益会
《後援》香川県文化財保護協会 朝日新聞高松総局 産経新聞社 山陽新聞社 日本経済新聞社高松支局 毎日新聞高松支局 読売新聞高松総局 NHK高松放送局 OHK岡山放送 RSK山陽放送 KSB瀬戸内海放送 TSCテレビせとちう RNC西日本放送 FM香川 FM815

文化庁 The Kagawa Museum 香川県立ミュージアム
令和6年度 文化庁 文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業 香川県高松市玉藻町5-5 TEL:087-822-0002

江戸時代の最後に明治新政府軍の旗が高松城に迫る



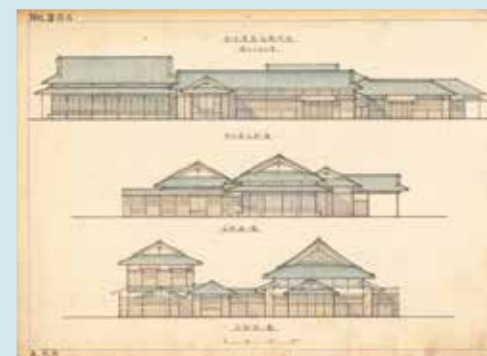
錦旗
高知県立
高知城歴史博物館

第3話 かわっていく城の跡



第八回関西府県連合共進会手引草 当館

高松城跡では、
いろいろな行事が開催された



「建築図集」の内 高松松平家別邸(パネル展示) 株式会社清水建設

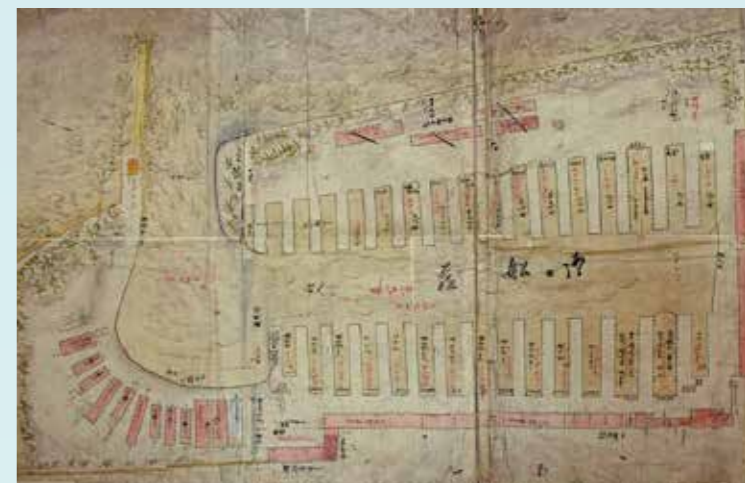
松平さんが建て、
大事なお客様をもてなした「披雲閣」

いきいきと祭に参加する城下町の人びと



石清尾八幡宮祭礼図巻 当館

高松藩の船団を収める専用ドック



高松藩船蔵図 愛媛県歴史文化博物館



大洲城の
骨組みが分かる模型
高松城にもかつてあった

大洲市指定有形文化財
大洲城天守雛形
大洲市立博物館

高松城

海にのぞむ城のものがたり

「讃州讃岐は高松様の
城が見えます波の上」

香川県高松市にある高松城は瀬戸内海をのぞむ、波の上に浮かんでいるかのように見える城でした。

高松城の誕生は今から約四三〇年前。それ以来、世の中の動きとともに城は姿を変え、今も城跡として引き継がれています。四国の玄関口と呼ばれた時代があり、今も瀬戸内海の島々へ向かう人たちにぎわう高松港や長いアーケードをもつ商店街の歴史をさぐっていくと、高松城と瀬戸内海をつなぐにたどりつきます。

第1話 海にのぞむ城のはじまり

幕府の隠密が調べた、高松城の図



高松城図 讃岐伊予土佐阿波探密書付図写 松山大学図書館

豊臣秀吉の命令で、
生駒親正が讃岐へやってきた



豊臣秀吉領知朱印状(生駒家文書) 個人



高松市指定有形文化財
生駒親正肖像画 弘憲寺

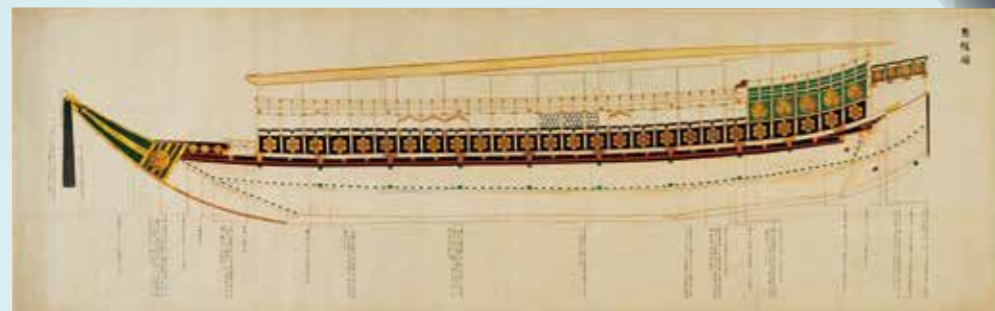
高松城のはじまりはこの人の手で

高松城と城下町をいきいきとものがる屏風絵

第2話 広がる高松城と城下町

香川県指定有形文化財 高松城下図屏風(部分) 当館

海上の城、大名のクルーズ船飛龍丸(連携企画 常設展・御座船「飛龍丸」にて公開)



香川県指定有形民俗文化財 高松藩飛龍丸船明細絵図 惣絵図 公益財団法人松平公益会

二代高松藩主が着た甲冑

高松市指定有形文化財
本小札肩白紺色緘具足
二方白四十八間筋兜
田村神社



二代高松藩主が着た
城のすみこころの本音

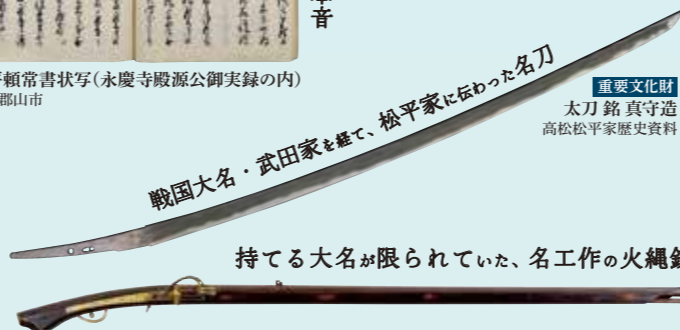


松平頼常書状写(永慶寺殿源公御実録の内)
大和郡山市

重要文化財
太刀 銘 真守造
高松松平家歴史資料

戦国大名・武田家を継ぎ、松平家に伝わった名刀

持てる大名に限られていた、名工作の火縄銃



火縄銃 銘 日本清光 当館

高松城の正確な堀のかたちや建物の位置



旧高松御城全図 当館



松平頼重像(パネル展示)
公益財団法人松平公益会